

3A-E YAML

原案: 矢藤(kohyatoh)

解答: 高原(rankalee, shimejitan), 矢藤

解説: 矢藤

問題

- YAMLをパースしてください

問題

- ちょっと変わった構文解析(インデントベース)
- 非終端記号が無限個ある (mapping(0), mapping(1)...)
- LL(1)です

再帰下降構文解析

- 構文解析は再帰下降法がおすすめです
- 一回覚えたら、構文解析が非常に楽になるの
でこの機会に覚えましょう
- 参考サイト
- [http://web.archive.org/web/
20100515203116/http://
fxp.hp.infoseek.co.jp/arti/parser.html](http://web.archive.org/web/20100515203116/http://fxp.hp.infoseek.co.jp/arti/parser.html)

再帰下降構文解析

- 一つの非終端記号に一つの関数をわりあて
(例) `mapping(n) -> Yaml *mapping(int n) {}`
- グローバル変数token: 次のトークンを保存
適宜tokenを更新しながら、相互再帰していく
- 「どのtokenが来たらどの関数を呼び出し、どのtokenが来たら関数を抜けるか」を意識

解答状況

- First Accept: neteru_AA 34min
- AC/ALL: 20/42

- ジャッジ解
- 高原 (C++) 69行
- 矢藤 (C++) 98行